

I 実践

1 本校の人権教育実践の目標

差別や偏見によって起こる問題を自らの問題としてとらえ、互いに人権尊重の心を持ち、差別や偏見をなくそうとする態度を育てる。

2 本校の人権教育における努力点

- (1) 人間としての生き方についての自覚の向上を図る。
 - ・ 授業研究の推進（各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動）
 - ・ 呼名のしかたの徹底
 - ・ 一人一人が尊重される学校・学級づくり
 - ・ ボランティア活動の推進
- (2) 差別や偏見を直視し、正しい判断力の育成に努める。
 - ・ 自他のよさに気づかせる場の設定と言葉かけの工夫
 - ・ 差別や偏見に対する実態調査とその指導
 - ・ 人権コーナーの設置
 - ・ 新型コロナウイルス感染症への正しい理解と情報を適切に判断できるようにする指導

3 実践内容

(1) 人間としての生き方についての自覚の向上を図る

① 授業研究の推進

本校では、『「主体的・対話的で深い学び」のある授業の構築～各教科の特質に応じた「見方・考え方」を身に付けることができる授業づくり』を主題に、生徒の資質・能力の育成に努めている。特に、「単元を見通した1時間完結型授業」や「ゴールから考える授業づくり」の視点から、課題解決的な学習や話し合いの場面の設定、学習のまとめと振り返りの充実などを目指した授業改善を行った。

② 呼名のしかたの徹底

呼名の際は、生徒によって名前の呼び方が変わらないようにし、名前に必ず敬称を付けるなど、生徒を一人の人間として尊重する取組を行った。一人一人に不公平感を感じさせないように配慮した。

③ 一人一人が尊重される学校・学級づくり

生徒会が中心となり、「自分から（主体性）」・「共に（協働）」の視点から周囲（先輩・同級生・後輩）のよさや努力を認め、賞賛する「豊中いいところ発見」を実施した。各学級では、帰りの会で日直がその日にあった級友のよい行いや努力を発表し、「今日のヒーロー賞」として掲示した。生徒一人一人が所属感や自己有用感をもてるような環境づくりに努めた。

(2) 差別や偏見の問題を直視し、正しい判断力の育成に努める

① 自他のよさに気づく場の設定と言葉かけの工夫

ア あいさつ運動

「豊浦あいさつ日本一」を目指して、毎朝、各学級2～4人の生徒が昇降口に立ち、朝のあいさつ運動を行った。いつでも・どこでも・誰とでもあいさつができる生徒の育成を目指している。

イ 賞賛状

本校では、家庭学習のノートを終わると「努力を讃える賞賛状」を校長より表彰される。学習内容や時間、成績に関係なく、誰もが自分の努力を認められる機会となっている。また、思いやりのある行動を賞賛する「心を讃える賞賛状」を発行し、生徒を褒める場面を増やすように工夫している。

② ネットトラブル防止教室の実施計画

インターネット上の人権侵害を未然に防ぐため、ネットトラブル防止教室を2月13日に実施する予定。スマートフォンが普及し、トラブルや危険が増す中、生徒が正しい使い方や判断する力を身に付けられるように、様々な場面で情報モラルの育成に努めた。

③ 教科による人権意識の向上

国語科：社会的差別を題材とした作品で、登場人物の心情を考え、差別や偏見をおかしいと思える感性を育んだ。

社会科：公民的分野においては、人権の意味や、様々な人権課題の正しい理解を図った。また、歴史的分野でも同和問題や、アイヌの人々に対する偏見の歴史など、人権に関する問題の根深さを知り、正しい理解ができる指導に努めた。

④ 新型コロナウイルス“差別・偏見をなくそう”プロジェクト（TOYOURA 版）の実施

新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見について考え、適切な行動をとることができるようにすることを目的に道徳授業を実施した。新聞記事と映像教材を活用し、生徒が自分事として捉えたり、多面的・多角的に考えられたりできるようにした。

4 成果

- 各教科や道徳等を通して、差別や偏見について正しい知識をもたせた。生徒一人一人が互いに人権尊重の心を持ち、差別や偏見をなくそうとする態度が育った。
- 生徒会の「豊中いいとこ発見」では、生徒が主体となって企画・実施することができた。生徒の振り返りには「友達や先輩・後輩のよさを再確認できた。自分も真似してみたいと思う行動もあった。」等の感想が書かれていた。互いのよさや努力を認め合うきっかけとなったことがわかる。

II 今後の課題

- 生徒の人権尊重の意識を高めるため、人権コーナーや掲示物の充実といった校内環境の整備、校内研修による教師の人権意識の向上、さらに道徳科を要とした学校教育全体での人権教育・道徳教育の実践の拡充を図っていく必要がある。
- 今後も、互いを思いやり、いじめや暴力のない学校づくりを目指し、学校生活全体をよりよくしようという意識を形成する取組を生徒が中心となって推進することが必要である。

III 人権コーナー

【人権コーナー】



人権意識を高めるために、人権に関するポスターやリーフレット、人権作文を掲示している。

【豊中いいとこ発見】



周囲のよさや努力をリーフ状のカードに記入した。学級ごとにツリーを作成し、廊下に掲示した。